

令和2年度第1回多賀城市子ども・子育て会議録（要約版）

□日時 令和2年8月28日（金） 午後1時30分から3時30分まで

□場所 多賀城市役所3階 第1委員会室

□出席者

委員：増子正会長、磯部裕子副会長、村上秀典委員、中鉢義徳委員、黒川恵子委員、橋元伸二委員、伊東清美委員、伊藤光子委員、大東昭裕委員

事務局：郷家保健福祉部長、萱場保健福祉部次長兼社会福祉課長、佐藤子育て支援課長、阿部保育課長、阿部健康課長、伊藤学校教育監、阿部生涯学習課主幹
瀧口子育て支援課長補佐兼子ども政策係長、福田子育て支援課子ども家庭係長、高橋子育て支援課主査

欠席委員：服部典子委員、狩野里絵委員、丸田浩之委員、牛来生人委員

□次第

1 開会

2 挨拶

3 委員紹介

4 議事

（1）報告事項

ア 多賀城市子ども・子育て支援事業計画 平成31年度実施状況について

イ 第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（前期計画）の達成状況の評価について

（2）審議事項

第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（後期計画）の骨子案について

5 その他

6 閉会

1 開会

事務局：ただ今から、令和2年度第1回多賀城市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。本日の会議録及び委員名などの公開についてですが、会議の内容につきましては、議事概要としてホームページで公開いたします。

その際、会長以外の発言者については、委員という形で記載いたします。なお、会議の委員名簿につきましては公開とさせていただきますので、ご了承ください。

2 挨拶

事務局：お手元の次第に沿って進行してまいりますので、よろしくお願い致します。まず初めに、多賀城市子ども・子育て会議の増子会長よりご挨拶を申し上げます。

会長：皆さん、こんにちは。増子でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

平成24年8月に子ども・子育て支援法というのが成立して、それによって、この子ども子育てに関する事業計画の策定にあたって委員の皆様からいろいろお話を聞きながら、多賀城ですと、すくっぴープラン始めとする様々な子ども子育て支援の計画に反映させてい

こうということですので、委員の皆様から忌憚のない御意見をいただいて良い多賀城市のプランにしていければと思いますのでご協力、よろしくお願いします。

3 委員紹介

事務局：続きまして、次第3の委員紹介ですが、時間の関係上、資料8 子ども・子育て会議委員名簿の記載に代えさせていただきますので、よろしくお願い致します。また、事務局員につきましても、併せて記載しておりますので、ご確認ください。

なお、令和2年4月に委員の改選がございましたので、新任の委員につきましては、ここで一言、ご挨拶を頂きたいと存じます。

(委員挨拶)

4 議事

事務局：それでは、ここから、議事進行を会長に引継いたします。

多賀城市子ども・子育て会議条例第4条第1項の規程に基づき、増子会長が議長となりますので、よろしくお願い致します。

会長：それでは、改めまして暫時、議長の職を務めさせていただきます増子でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。速やかな議事の進行となりますよう、皆様のご協力をお願い致します。それでは、早速議事に移りたいと思います。

本日、この子ども・子育て会議の議事案件は、次第に記載されておりますとおり、報告事項が2件、審議事項が1件でございます。はじめに(1)報告事項のア「多賀城市子ども・子育て支援事業計画 平成31年度実施状況について」事務局から説明をお願いします。

資料1に基づいて事務局が説明。

会長：ありがとうございました。ただ今事務局から「多賀城市子ども・子育て支援事業計画 平成31年度実施状況」について説明をしていただきました。委員の皆様から、御意見や御質問はございませんでしょうか。

委員：4ページのウの3号認定の1・2歳児の資料ですが、これは1歳児と2歳児に分けられなかったのでしょうか。同じ考え方でやっているのかもしれないが、1歳児のニーズと2歳児のニーズが満3歳というお子さんが幼稚園にお入りになる方がいらっしゃるから1歳児のニーズのところと2歳児のニーズのところに分けられた方がよろしいんじゃないかと思ったので、ちょっと質問したのですが。

事務局：幼児教育の無償化が去年から始まりまして、なおのこと満3歳児の子が幼稚園の方を利用されている方もいらっしゃるなので、その辺りを検討させていただきまして、わかりやすい資料にしていきたいと思っております。

会長：その他いかがでしょうか。

委員：9ページの⑧のショートステイですが、31年度の実績が0であるように、これまでは基本的に、ご両親の要望があるとしても多賀城市内に養護施設があるわけではないので仙台市内の児童養護施設を利用されることとなりますし、この実績というのはないままであったのだと思います。しかし、この現状の中で万が一にも両親が新型コロナに感染した場合、そのお子さんを児童養護施設等で引き受けるというのが国の方針ですので、それに準じて多賀城市もなさるといことになるかと思えます。そうは言っても両親が感染し、例えば仙台市の児童養護施設に、というのそんなにスムーズな話ではない。お子さん自身も、今まで何のご縁もなかったところの養護施設に行くのは、そう簡単なことではないと思うのです。ですから、何らかの方法で、そういったお子さん、家庭の支援をどうしていくのか、ショートステイで対応するのか、あるいはそれ以外の子どもや保護者に寄り添ったやり方があるのかということ、ご検討いただいているのか、あるいは何かすでに準備されていることがあればお聞かせいただければと思います。

増子会長：事務局いかがでしょうか。

事務局：子育て短期支援事業につきましては、事業計画の策定のご審議をいたднаかでも同様の質問がございました。コロナに関しては別として、これまでの第1期計画期間中、5年間のなかで実は1件ございました。父子家庭の方でお父さんが病気で1か月程度入院されて、お子さんをみる方がいないというお話がありまして、これは県の中央児童相談所の一時保護ということでお願いをしております。もちろんお父さんの了解を得てということですが、実際このショートステイ事業は、私どもの方で第1期計画が始まった当初に児童養護施設と委託契約をしてショートステイ事業を受け入れていただけないかお願いしましたが、実際県内の児童養護施設はどこも満杯で、できてない状況でございます。それは他の市町村も同様だと思うのですが、例えば仙台市みたいに母子生活支援施設ですとか一時保護所をお持ちのところはできるとは思うのですが、市町村ではちょっと厳しいのかと思っております。でも今回コロナの問題もでてまいりましたので、それについて今後、県の児童相談所の方針はどうか、何度か確認はしているのですが、まだ県からも回答はいただけてないところでして今後も委員がおっしゃるよう引き続き検討させていただきます。

会長：その他いかがでしょうか。それでは次の報告事項に移らせていただきます。報告事項の「第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（前期計画）の達成状況の評価について」事務局から説明をお願いします。

資料2に基づいて事務局が説明。

会長：ありがとうございます。ただ今事務局から「第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（前

期計画)の達成状況の評価について」説明がありました。委員の皆様から御意見、御質問を頂戴いたします。いかがでしょうか。

委員：前段のいわゆる保育ニーズのところ、資料1になりますけれども、1・2歳児が実績として63人不足している。ただ今の説明の5ページでは待機児童は103人いると、これは4月1日時点と途中経過の違いということで103人の待機児童になっているのでしょうか。

事務局：資料1の4ページのマイナス63人の部分につきましては国基準になります。第1期子ども・子育て支援事業計画上の待機児童数は実質待機数になっているので少し多い数字となり、若干のずれがあります。実際、国定員待機児童数につきましては31年4月1日時点で46名。実待機数は103名という形になっておりまして、4ページについては実際定員ベースと受け皿確保ベースという形になっているので待機児童数は一致しない形になっています。

会長：その他いかがでしょうか。

委員：緻密な計画とさまざまな堅実な施策、誠にわかりやすい説明、ありがとうございます。例えば障害者差別解消法とか法律が整備されてきておりますが、例えば早期支援とかインクルーシブ教育というところで障がいがあるお子さんの保育とか充実が求められているかと思うのですけれども、今のご説明の3ページの1-4で「発達支援、障がいのある子どもの支援の充実」で相談の数が徐々に増えているということで27年度に発達支援センターが開設されたことが要因となっているということですが、多賀城市として、そういう障がいがあるお子さんたちは例えば小学校とか中学校のように通常のお子さんとともに保育等をしているのか。それと併せて、障がいがあるお子さん方の特別な園というか施設があるのかを教えていただければと思います。

事務局：まず療育支援が必要なお子さんについては、太陽の家といって発達支援センター、通年のものがございますので、そちらで受け入れて療育支援を行っているところですが、施設の単位の限りもありますし地域の中で障害をお持ちのお子さん、問題、課題を抱えているお子さんを地域のなかで育てていくということが多賀城の方針としてありますので、保護者の方が希望されるのであれば保育所へ出向いて行って指導をしております。後は、受け入れ先の保育所などで指導される先生方の対応をどのようにしたらいいのかについて巡回相談を行っています。太陽の家でも受け入れはするのですけれども、地域の中でお子さんを育てていくということがメリットとして考えておりますので、発達支援センターを中心として地域全体で育てていく体制で取り組んでおります。

委員：ありがとうございました。

会長：ありがとうございます。その他いかがでしょうか。以上で1の報告事項を終了いたします。

す。それでは、次に2の審議事項に移ります。審議事項は一つですので「第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（後期計画）の骨子案について」事務局から説明をお願いします。

資料3、4に基づき事務局が説明。

会長：はい、ありがとうございます。ただ今事務局から第2期多賀城市次世代育成支援行動計画（後期計画）の骨子案について説明がありました。本日の本会議におきましては、ただ今事務局からも説明がありましたが4章からは現在検討中ということでございますので、本日は計画の方向性を示すこととなります第1章から第3章までの内容について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思っております。その上で本計画の方向性を決定したいと思っておりますので、皆様方から御意見はございますでしょうか。

（会場：意見なし）

会長：事務局、すみません。今日、皆さんからも出し切れない意見とかあると思っております。これは何日か期間をいただくということは可能でしょうか。

事務局：可能でございます。

会長：これから資料に目をよく通されていろいろ意見が出てくるかと思っておりますので、いつ頃まででしたら可能でしょうか。

事務局：それでは私どもの方から御意見をいただくようなシートを作成いたしまして、締め切りを設けてお送りいただくという方向ではどうでしょうか。

会長：わかりました。それでは事務局から委員の皆様に質問や意見をいただくようなシートをお送りいたします。その上で今日出し切れなかった御意見などは事務局が設定した締め切りに合わせて皆様から事務局の方にお送りしていただくことにしたいと思います。今お気づきになってる点は今御意見などを頂戴したいと思います。

委員：第1期の活動というのは子ども・子育て支援事業計画がメインだったような感触を受けております。それで第2期の方は、こちらの計画の13ページに載っておりますが社会全体で子ども・子育てを支援するまちづくりということで、私たち事業者もこの会議自体に参画させていただいているのですが、16ページにある学校から企業からいろんな主体がございしますが、この主体に対して何らかの多賀城市としての現状の報告だとか、お願いしたいことだとか、アクションに繋がるところを発信していただけると、私たち事業者としても、取り組みやすくなるのかと。冊子やホームページに載っていても、多賀城では企業・事業主に対して、こういう活動をお願いしたいということを出していただきたいと思います。成果指標、目標値の設定は難しいとは思いますが、例えば年1回そういう通知をだ

すとか、そういうことで数値目標を設定してもよろしいのではないかと考えております。何らかのアクションを起こしていただきたいということを希望しております。よろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございました。事務局、いかがでしょうか。

事務局：企業との子育て支援の関わりと申しますと例えば、第1期計画期間では、子育てサポートセンターのクッキングスタジオで企業から食材を提供いただいて食育講座を開催するとか、児童館での緑のカーテンですとか様々なイベントを通して関わってきてはいますが、委員のおっしゃるとおり、これで十分だということではないと思います。これから機会を捉えて発信できるように検討してまいりたいと思います。

会長：ありがとうございます。その他いかがでしょうか。それでは先ほど事務局にお願いしました委員の皆さんに御意見をいただくシートを事務局から送っていただいて、委員の皆さんから御意見を頂戴していきたいと思っております。事務局には今回、委員の方から出された意見ですとか、これから委員の皆様から出てくる意見を踏まえて次回の子ども・子育て会議までに計画案を作成していただきたいと思っております。委員の皆様、いかがでしょうか。

(会場：同意)

ありがとうございます。それではその様に決定したいと思います。それでは以上で本日のすべての議事を終了いたします。委員の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。それでは事務局に後お返しいたします。

5 その他

事務局：増子会長、議事の進行をありがとうございました。また、委員の皆さまも長時間に渡りありがとうございました。次第5の「その他」としまして、何かございますでしょうか。

(会場：意見なし)

8 閉会

事務局：以上をもちまして、令和2年度第1回多賀城市子ども・子育て会議を終了いたします。本日は長時間に渡りありがとうございました。なお、次回会議は、11月11日を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。